２０２６年１１月１９日
損害保険ジャパン株式会社

救援投手を称える新賞「損保ジャパン HIKESHI 賞」表彰式を開催
初代受賞者は船迫 大雅選手（読売ジャイアンツ）、八木 彬選手（千葉ロッテマリーンズ）、ファン投票による特別賞は工藤 泰成選手（阪神タイガース）、鈴木 豪太選手（福岡ソフトバンクホークス）が受賞
～プロ野球 OB 五十嵐 亮太氏 × プロ野球ファン 磯山 さやか氏が登壇～



損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は、一般社団法人日本野球機構（以下「NPB」）とともに、２０２６年シーズンを通じて最もチームの危機を救った救援投手を表彰する「損保ジャパン HIKESHI 賞（以下「HIKESHI 賞」）」の表彰式を、２０２６年１１月１９日に損保ジャパン新宿本社ビルにて開催しました。

当日は、「HIKESHI ポイント」で首位を獲得したセ・リーグ 船迫 大雅選手（読売ジャイアンツ）、パ・リーグ 八木 彬選手（千葉ロッテマリーンズ）を表彰。さらに、ファン投票によって選出された「特別賞」受賞者には、セ・リーグ 工藤 泰成選手（阪神タイガース）、パ・リーグ 鈴木 豪太選手（福岡ソフトバンクホークス）が選ばれ、本賞および特別賞受賞者には、トロフィーと賞金が贈呈されました。

また表彰式では、プロ野球 OB の五十嵐亮太さんとタレントの磯山さやかさんをゲストに迎え、今シーズンの劇的な「火消し」シーンを振り返るトークセッションを実施しました。

１．背景・目的

損保ジャパンは、１８８８年（明治２１年）に日本初の火災保険会社である「東京火災保險會社」として創業しました。「人々のくらしを罹災からお守りしたい」という強い使命感のもと、保険会社でありながら、警視庁認可の私設消防団「東京火災消防組」を結成し、自ら「火消し」として地域を守ってきた歴史があります。

この「火消し」の精神を受け継ぎ、１９８１年から２２年間継続した「ファイアマン賞」※1を現代版にアップデートした「HIKESHI 賞」を今シーズンより新たに設立。登板時の走者状況やピンチの大きさを数値化した「HIKESHI ポイント」に基づき、チームや仲間を守り抜いた救援投手を讃えるとともに、野球の新たな魅力をファンの皆さまと発見していくことを目指しています。

なお、「HIKESHI 賞」は、「ＨＩＫＥＳＨＩ　ＤＮＡ　２０３０　Ｐｒｏｊｅｃｔ」※2の一環として実施しています。

※１　１９８１年から２００２年まで、当時の安田火災海上保険（現・損保ジャパン）が協賛していた救援投手の表彰制度。

※２　ニュースリリース　ＨＩＫＥＳＨＩ　ＤＮＡ　２０３０　Ｐｒｏｊｅｃｔ始動（２０２６年３月２５日）

２．２０２６年シーズン「損保ジャパン HIKESHI 賞」受賞者

今シーズンの「HIKESHI ポイント」で首位に輝いた「HIKESHI 賞」の「本賞」受賞者、ならびに本表彰式にて発表されたファン投票による「特別賞」受賞者は以下の通りです。

【本賞】

セントラル・リーグ１位　：船迫 大雅選手（読売ジャイアンツ）

パシフィック・リーグ１位：八木 彬選手（千葉ロッテマリーンズ）

【特別賞】

セントラル・リーグ：工藤 泰成選手（阪神タイガース）

パシフィック・リーグ：鈴木 豪太選手（福岡ソフトバンクホークス）

３．表彰式レポート

（１）代表取締役社長 石川耕治が語る創業の歴史と「HIKESHI 賞」に込めた想い

華やかな光と音の演出のなか開式した表彰式では、冒頭に代表取締役社長の石川 耕治が登壇。「絶体絶命のピンチを安心に変える救援投手の姿は、私たちが創業以来大切にしてきた『火消し』の精神と深く共鳴しています」と語り、損保ジャパンのルーツである「火消し」の精神を重ね合わせながら、救援投手を称える新賞設立への想いを力強く伝えました。続いて、NPB 事務局長 中村 勝彦氏より、救援投手の貢献を正当に評価する本賞の意義についての祝辞が述べられました。





その後に行われたトークセッションでは、PR 発表会に引き続きゲストとして登壇したプロ野球 OB の五十嵐 亮太さんとタレントの磯山 さやかさんが登場。今シーズンのプロ野球で繰り広げられた数々の「火消し」シーンを振り返り、五十嵐さんは「試合の流れを左右する緊迫した場面で投げる中継ぎ投手に脚光が当たり、野球の見方が変わる素晴らしい賞だと思います」と専門的な視点で解説いたしました。磯山さんも「『HIKESHI 賞』ができたことで、どの投手がどんなピンチを抑えるかという新しい楽しみ方が増え、毎試合ドラマを見ているようでした」と語り、会場の期待感を高めました。





（２）HIKESHI 賞 贈呈

式典の中盤からは、本表彰式にて初発表となったファン投票による「特別賞」の発表が行われ、MC からの選手紹介とともに選手が入場。登壇したセ・リーグの工藤 泰成選手（阪神タイガース）およびパ・リーグの鈴木 豪太選手（福岡ソフトバンクホークス）に対し、損保ジャパン社長の石川より特製トロフィーと賞金が授与されました。

続いて本イベントの目玉として、年間を通じて「HIKESHI ポイント」で首位に輝いた「HIKESHI 賞」の「本賞」を発表。セ・リーグ　船迫 大雅選手（読売ジャイアンツ）、パ・リーグ　八木 彬選手（千葉ロッテマリーンズ）が万雷の拍手に包まれながらステージへ登壇し、同様にトロフィーと賞金が手渡されました。



「HIKESHI 賞」のトロフィーには、江戸の町火消が組の象徴として火事場に掲げた「纏（まとい）」を採用。私設消防団「東京火災消防組」を結成し、自ら火消しとして地域を守ってきた損保ジャパンのルーツにちなみ、纏や旗金具を手がける職人※3が、本表彰のために特製の纏を制作しました。

最後に受賞者と登壇者のフォトセッションが行われ、終始温かい熱気に包まれたまま本表彰式は幕を閉じました。

※３　京都で纏・旗金具の製作を行う株式会社仁科旗金具製作所

＜受賞選手コメント（一部抜粋）＞



セ・リーグ 本賞：船迫 大雅選手（読売ジャイアンツ）
「初代『HIKESHI 賞』をいただき大変嬉しく思います。この賞に満足することなく、来年以降もチームのピンチを救えるよう頑張ります。」

パ・リーグ 本賞：八木 彬選手（千葉ロッテマリーンズ）
「このような素晴らしい賞を作っていただき感謝しています。この賞のおかげで頑張れた部分もあるので、来年も受賞できるよう頑張ります。」

セ・リーグ 特別賞：工藤 泰成選手（阪神タイガース）
「ファンの皆様の投票で選んでいただき強く感謝しています。この受賞にとどまらず、これからもたくさんの賞をいただけるよう頑張ります。」

パ・リーグ 特別賞：鈴木 豪太選手（福岡ソフトバンクホークス）
「プロ１年目からこのような素晴らしい賞をいただけて大きな自信になります。また来年もたくさん獲れるよう頑張っていきたいです。」

開催概要

日時　　：２０２６年１１月１９日（木）　１４：００～１５：００
会場　　：損害保険ジャパン株式会社 新宿本社ビル
登壇者　：損害保険ジャパン株式会社 代表取締役社長 石川 耕治
　　一般社団法人日本野球機構 事務局長　中村 勝彦様
受賞者　：読売ジャイアンツ　船迫 大雅様
　　千葉ロッテマリーンズ　八木 彬様
　　阪神タイガース　工藤 泰成様
　　福岡ソフトバンクホークス　鈴木 豪太様
ゲスト　：五十嵐 亮太様
　　磯山 さやか様

＜「損保ジャパン HIKESHI 賞」特設ページ＞
https://www.sompo-japan.co.jp/company/initiatives/hikeshi_award/

【本件に関するお問い合わせ先】
「損保ジャパン HIKESHI 賞」PR 事務局（株式会社アンティル内）　担当：後藤、塚本、渡邊
TEL：03-6821-7863　FAX：03-4335-8385　MAIL：sompo_2026@vectorinc.co.jp

HIKESHI DNA 2030 Project

「HIKESHI DNA 2030 Project」は、当社の原点である"火消しの精神"を今に受け継ぎ、地域と連携して「災害に強く、だれもが安心して暮らせる地域社会の実現」を目指すプロジェクトです。